

# 平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月25日

上場会社名 株式会社 ネットプライスドットコム

上場取引所 東

コード番号 3328 URL <a href="http://www.netprice.com">http://www.netprice.com</a> 代表者

(役職名) 代表取締役社長兼グループCEO (氏名) 佐藤 輝英

問合せ先責任者(役職名)代表取締役副社長兼グループCFO (氏名) 中村 浩二 TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

: 有 (アナリスト向け) 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日~平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	7,721	△5.9	△149	_	△84	_	△203	_
23年9月期第3四半期	8,210	△12.1	55	△73.3	△84	_	△244	

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 △200百万円 (—%) 23年9月期第3四半期 △229百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
24年9月期第3四半期	△1,831.60	_
23年9月期第3四半期	△2,198.01	_

## (2) 連結財政状態

· / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	44\ *\ <del>\</del> \*\	/	4 <b>7</b> 72 L L +	. はいた ログンタナ
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年9月期第3四半期	6,276	4,061	62.4	35,208.29
23年9月期	6,778	4,251	61.2	37,320.13

24年9月期第3四半期 3,918百万円 23年9月期 4,144百万円 (参考) 自己資本

#### 2 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
23年9月期	_	0.00	_	0.00	0.00			
24年9月期	_	0.00	_					
24年9月期(予想)				_	_			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

#### 3. 平成24年 9月期の連結業績予想(平成23年10月 1日~平成24年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上和		営業利	J益	経常利	l益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	10,000	△7.3	△200	_	△140		△250	_	△2,247.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示: 無

#### (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	113,066 株	23年9月期	113,066 株
24年9月期3Q	1,760 株	23年9月期	2,000 株
24年9月期3Q	111,186 株	23年9月期3Q	111,066 株

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1)四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	10

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるグローバル経済は、欧州の金融不安による為替の変動や東南アジアをはじめ新興国の世界経済における相対的な地位の著しい向上など大きく変化しております。わが国経済は、東日本大震災後の一時的な消費の低迷から脱し回復傾向にありましたが、経済環境は依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループはEコマース事業においては、①ギャザリング部門の事業転換②バリューサイクル部門のブランディング強化と規模の拡大③クロスボーダー部門の対象地域拡大、インキュベーション事業においては、既存事業の拡大と新規事業の立ち上げを積極的に進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,721,020千円(前年同期比5.9%減)、経常損失は84,408千円 (前年同期は経常損失84,278千円)、四半期純損失に関しましては203,647千円(前年同期は四半期純損失244,124 千円)となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

当社グループは、昨年度まで、報告セグメントを「ギャザリング事業」、「バリューサイクル事業」及び「コマースインキュベーション事業」の3つの事業区分としておりましたが、「コマースインキュベーション事業」のうち、グローバルショッピング事業の連結業績に与える影響が高まり、今後も拡大が継続していくと予想されることから、今年度第1四半期連結会計期間から別セグメント(クロスボーダー部門)として開示しております。

変更後の報告セグメントは、当社の経営戦略の両輪である、「Eコマース事業」と「インキュベーション事業」の2事業に大別し、さらにEコマース事業を「ギャザリング部門」「バリューサイクル部門」「クロスボーダー部門」に区分しております。

#### ①Eコマース事業

ギャザリング部門におきましては、昨年4月に事業モデルの抜本的転換をはかり、お客様の声を取り入れたオリジナル商品の開発や、ユーザビリティの向上、顧客ポートフォリオマネジメントに基づく集客施策の実施などを着実に進めてまいりました。また本年6月には、さらに価値訴求に踏み込んだサイトリニューアルを行い、その結果、一時的に売上は減少いたしましたが、売上高総利益率の改善と人員の削減等による販管費の削減効果によって赤字幅は縮小し、6月単月では黒字化いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,502,350千円(前年同期比13.7%減)、営業損失は201,375千円(前年同期は営業損失212,931千円)となりました。

バリューサイクル部門におきましては、積極的な広告戦略・アライアンス戦略により、宅配買い取り事業の国内 ナンバーワンとしての地位を固めつつあり、前年同期を大きく上回る買い取りで推移しております。上半期におい ては、買取需要の大幅な増加に対応するため、経営資源の多くを販売から買取に配分したことにより、販売力が手 薄となり、売上高は計画を下回り、赤字となりましたが、当第3四半期においては、前四半期において増加した買 取商品の販売を着実に進めたため、売上が順調に増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,446,117千円(前年同期比11.2%増)、営業利益は4,187千円(前年同期比97.0%減)となりました。

クロスボーダー部門の「sekaimon」では、本年2月以降、為替相場が一時的に円安に振れる局面はあったものの総じて円高水準が継続しており、米国での事業は前年同期から大きく伸張しております。また、本年1月に本格的に開始した欧州(英国)での事業も、開始初月から黒字化するなど順調に拡大を続けております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は559,032千円(前年同期比23.8%増)、営業利益135,073千円(前年同期比28.7%増)となりました。

Eコマース事業全体では、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,507,500千円(前年同期比4.6%減)、営業損失は62,114千円(前年同期は営業利益32,982千円)となりました。

#### ②インキュベーション事業

インキュベーション事業におきましては、海外居住者向けの商品転送サービス「転送コム」は、提携ECサイトとのキャンペーン等により新規会員が増加し、売上、利益ともに順調に成長しております。また、成長が鈍化していた美容商品企画販売事業は整理を進める一方で、新しく商品プロデュース事業を行うモノセンス株式会社を設立し、タレントとのコラボレーションによるライセンス商品の開発を行うなどの取組みも進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は219,131千円(前年同期比40.8%減)、営業利益は142 千円(前年同期は営業損失56,989千円)となりました。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ502,477千円減少し、6,276,107千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が4,818,549千円となり、前連結会計年度末と比べ560,081千円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金571,036千円の減少であります。また、固定資産合計は、1,457,558千円となり、前連結会計年度末と比べ57,603千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、投資有価証券238,668千円の増加であり、減少要因としては、投資その他の資産その他に含まれております敷金・保証金173,319千円の減少であります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は2,214,448千円となり、前連結会計年度末と比べ312,977千円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金152,665千円、1年内返済予定の長期借入金93,200千円、長期借入金58,300千円の減少であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は4,061,658千円となり、前連結会計年度末と比べ189,499千円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金203,657千円の減少であります。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月30日付けで公表しました平成24年9月期の業績予想を修正致しました。詳細につきましては、別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」(平成24年7月25日付け)をご参照ください。

- 2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項
  - (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
  - (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
  - (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

# 3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4, 074, 822	3, 503, 786
受取手形及び売掛金	662, 171	652, 332
有価証券	_	5, 982
商品	407, 563	444, 654
繰延税金資産	15, 624	3, 966
その他	219, 785	209, 302
貸倒引当金	△1, 337	$\triangle 1,476$
流動資産合計	5, 378, 630	4, 818, 549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	196, 123	204, 687
減価償却累計額	△79, 733	△94, 663
建物及び構築物(純額)	116, 389	110, 023
工具、器具及び備品	345, 214	284, 377
減価償却累計額	△301, 085	△230, 900
工具、器具及び備品(純額)	44, 129	53, 477
その他	<del></del>	25, 544
有形固定資産合計	160, 519	189, 045
無形固定資産	100, 010	103, 010
無形回足買座 のれん	113, 122	77, 568
その他	152, 264	161, 740
無形固定資産合計	265, 386	239, 308
	200, 300	239, 300
投資その他の資産	054 050	500.046
投資有価証券	354, 279	592, 948
関係会社株式	92, 100	80, 271
繰延税金資産 その他	7, 533	7, 222
	520, 133	348, 762
投資その他の資産合計	974, 047	1, 029, 203
固定資産合計	1, 399, 954	1, 457, 558
資産合計	6, 778, 584	6, 276, 107

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	600, 129	447, 463
短期借入金	837, 344	837, 172
1年内返済予定の長期借入金	169, 800	76, 600
未払法人税等	59, 947	21, 731
ポイント引当金	7, 209	13, 009
その他	548, 190	562, 451
流動負債合計	2, 222, 620	1, 958, 428
固定負債		
長期借入金	226, 800	168, 500
繰延税金負債	13, 539	12, 796
資産除去債務	64, 375	71, 416
その他	90	3, 307
固定負債合計	304, 805	256, 019
負債合計	2, 527, 426	2, 214, 448
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 331, 417	2, 331, 417
資本剰余金	2, 191, 056	2, 160, 148
利益剰余金	△113, 180	△316, 838
自己株式	△285, 067	△250, 858
株主資本合計	4, 124, 225	3, 923, 867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	$\triangle 2, 154$	△5, 013
為替換算調整勘定	22, 925	39
その他の包括利益累計額合計	20, 771	$\triangle 4,974$
新株予約権	30, 070	39, 640
少数株主持分	76, 091	103, 123
純資産合計	4, 251, 158	4, 061, 658
負債純資産合計	6, 778, 584	6, 276, 107
	-	

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第3四半期連結累計期間)

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	8, 210, 988	7, 721, 020
売上原価	4, 628, 666	4, 261, 991
売上総利益	3, 582, 322	3, 459, 029
販売費及び一般管理費	3, 526, 446	3, 608, 623
営業利益又は営業損失 (△)	55, 875	△149, 594
営業外収益		
受取利息	1, 696	714
為替差益	_	29, 199
投資有価証券売却益	_	69, 729
その他	11, 463	19, 014
営業外収益合計	13, 159	118, 658
営業外費用		
支払利息	8, 119	9, 734
為替差損	48, 376	_
投資事業組合運用損	4, 107	_
投資有価証券売却損	6, 742	_
投資有価証券評価損	_	26, 949
持分法による投資損失	85, 401	7, 693
その他	566	9,094
営業外費用合計	153, 314	53, 473
経常損失(△)	△84, 278	△84, 408
特別利益		
持分変動利益	14, 772	_
関係会社株式売却益	53, 950	<u> </u>
特別利益合計	68, 722	<u> </u>
特別損失		
持分変動損失	2, 669	_
減損損失	2, 203	<del>-</del>
特別退職金	_	29, 621
投資有価証券評価損	40, 075	_
固定資産売却損	91 051	4, 393
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21, 051	_
関係会社債権放棄損	30, 118	24.015
特別損失合計	96, 118	34, 015
税金等調整前四半期純損失 (△)	△111, 674	△118, 423
法人税、住民税及び事業税	87, 175	46, 341
法人税等調整額	32, 755	7,728
法人税等合計	119, 931	54, 070
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△231, 606	△172, 493
少数株主利益	12, 518	31, 153
四半期純損失 (△)	△244, 124	$\triangle 203,647$
	•	

# (四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△231, 606	△172, 493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1, 240	△2,859
為替換算調整勘定	4, 063	$\triangle 27,007$
持分法適用会社に対する持分相当額	△3, 595	1,613
その他の包括利益合計	1,707	△28, 253
四半期包括利益	△229, 898	$\triangle 200,747$
(内訳)	·	
親会社株主に係る四半期包括利益	△243, 202	△227, 780
少数株主に係る四半期包括利益	13, 303	27, 032

- (3)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。
- (5) セグメント情報等

#### 【事業の種類別セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

				調整額 (注) 1				
	Eコマース事業				インキュベー		四半期連結 損益計算書 計上額	
	ギャザリング 部門		クロス ボーダー部門	小計	ション事業	ション事業		(注) 2
売上高								
外部顧客への売上	5, 219, 865	2, 198, 197	451, 327	7, 869, 390	341, 598	8, 210, 988	_	8, 210, 988
高	0, 213, 000	2, 130, 131	101, 021	1,000,000	011, 000	0,210,300		0, 210, 300
セグメント間の内	150		,	150	00.500	00.044	A 00 044	
部売上高又は振替 高	153	_	4	158	28, 786	28, 944	△28, 944	_
計	5, 220, 018	2, 198, 197	451, 332	7, 869, 548	370, 384	8, 239, 932	△28, 944	8, 210, 988
セグメント利益 又は損失 (△)	△212, 931	141, 003	104, 910	32, 982	△56, 989	△24, 007	79, 882	55, 875

- (注) 1. セグメント利益の調整額79,882千円には、セグメント間取引消去5,098千円、未実現利益の消去△304千円、各報告セグメントに配分していない全社収益571,667千円及び全社費用△496,578千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。
  - 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	Eコマース事業				インキュベー	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	ギャザリング 部門		クロス ボーダー部門	小計	ション事業	口甫		(注) 2
売上高								
外部顧客への売上 高	4, 498, 084	2, 446, 117	559, 032	7, 503, 234	217, 786	7, 721, 020	_	7, 721, 020
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	4, 265	_	_	4, 265	1, 344	5, 610	△5, 610	_
計	4, 502, 350	2, 446, 117	559, 032	7, 507, 500	219, 131	7, 726, 631	△5,610	7, 721, 020
セグメント利益 又は損失 (△)	△201, 375	4, 187	135, 073	△62, 114	142	△61, 972	△87, 621	△149, 594

- (注) 1. セグメント利益の調整額△87,621千円には、セグメント間取引の消去△4,718千円、各報告セグメントに配分していない全社収益359,024千円及び全社費用△451,364千円が含まれております。全社収益は、主にグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。
  - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、昨年度まで、報告セグメントを「ギャザリング事業」、「バリューサイクル事業」及び「コマースインキュベーション事業」の3つの事業区分としておりましたが、「コマースインキュベーション事業」のうち、グローバルショッピング事業の連結業績に与える影響が高まり、今後も拡大が継続していくと予想されることから、今年度第1四半期連結会計期間から別セグメント(クロスボーダー部門)として開示しております。

変更後の報告セグメントは、当社の経営戦略の両輪である、「Eコマース事業」と「インキュベーション事業」の2事業に大別し、さらにEコマース事業を「ギャザリング部門」「バリューサイクル部門」「クロスボーダー部門」に区分しております。この区分方法の変更は前第3四半期連結累計期間のセグメント情報に反映しております。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。